

山口市合流式下水道緊急改善事業事後評価アドバイザー会議

日時 : 平成 29 年 3 月 7 日 (火) 14:00~15:00

場所 : 山口市小郡地域交流センター2階講座室

出席者 :

委員 國安会長、井上副会長、小田委員、徳光委員、吉武委員

山口市 柴田理事、横山参事、山根副参事、青木主幹、伊藤副主幹、阿部主査、
平本主査、佐々木主幹、福島

他 地域共同法人日本下水道事業団、株式会社日水コン

議事

■会議会長、副会長の選任

- ・会長に國安委員、副会長に井上委員を選任した。

■合流式下水道緊急改善事業事後評価について

合流式下水道緊急改善事業における改善目標が、事業完了後、計画通りに達成できていることについて、事後評価結果資料に基づき説明を行った。

質疑内容

(委員) 小郡処理区において、一部の区域で合流式下水道を採用した経緯を教えてください。

(回答) 小郡地区においては、当初、浸水対策を第一の目的として事業に着手しており、合流式は雨水と汚水を一本の管で排水するため、経済性、施工性に優れるため、合流式による整備を採用したものです。

(委員) 汚濁負荷について分流式並みとなったという説明にもかかわらず、未処理での放流があるというのは何故ですか。

(回答) 今回実施した改善事業では、合流区域を完全に分流式下水道に変更したのではなく、合流区域内の一部区域の雨水を水路へ切り替えて流すため、雨水分離化による側溝等の整備を行っています。

こういった対策後は、未処理放流回数や汚濁負荷量の削減に寄与しており、分流式と同じレベルの負荷量となっていますが、放流回数が「0」になるものではありません。

(委員) 小郡でもオイルボールは発生しますか。原因は家庭の油ですか。

(回答) オイルボールは油と洗剤起因の界面活性剤が固まってできたもので、家庭だけでなく飲食店等から流入した油が原因で発生しています。

小郡処理区においてもオイルボールにより下水管が詰まって水が流れなくなる事例もあります。市では使用済み天ぷら油を回収し、ごみ収集車の燃料として使用していますので、下水道へ流すのではなく、リサイクルへの協力をお願いします。

(委員) オイルボールはきょう雑物に含まれますか。また、きょう雑物は最終的にどのように処分していますか。

(回答) きょう雑物とは、下水に含まれる野菜くず等の固形物のごみのことで、オイルボールも含まれます。きょう雑物は回収後、焼却場で焼却処分しています。

(委員) 近年、雨の降り方が変わっているが、影響はありませんか？ 水路があふれることはありませんか？

(回答) 年間の降雨量は大きく変わっていませんが、雨の降り方は年々変わっていることを実感しています。

このような降雨への対応は、浸水対策の取り組みと考えており、小郡地域では長通り雨水幹線の整備や雨水ポンプ場の整備に取り組んでいます。このうち、平成26年度には雨水ポンプ場の増設部分について供用を開始しています。

このたびの合流改善事業は水質の改善を目的としていますが、浸水対策については公共下水道事業に関連していますので、今後も整備状況を見ていただければと思います。

(委員) 合流区域の一部について、雨水の分離化がされているが、一部が改善されたのか、うすく全体が改善されたのか、どのように考えれば良いか。また、分離化した地区はどこですか。

(回答) 本事業の目的として完全分流化が望ましいですが、経済的に難しいため、雨水分離化による整備を実施しています。

分離化している箇所は、学校等の大きな施設を中心として、比較的雨水分離な箇所を選定し、平成22年度から側溝を整備するなど雨水分離を行ったものです。

■答申書

- ・答申書のとりまとめは会長、副会長に一任する。
- ・答申書を山口市上下水道事業管理者に提出する。

■事務局より

- ・答申書の写しを各委員へ送付する。
- ・本会議の答申書、説明資料、議事録等は山口県を通じて国土交通省へ提出する。



写真 アドバイザー会議実施状況